

**製品名: EphA2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80542**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgM
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	130kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EphA2
別名	ECK; EPHA2
遺伝子 ID	1969.0
SwissProt ID	P29317
免疫原	大腸菌で発現した EphA2 の精製された組み換え断片。

**背景**

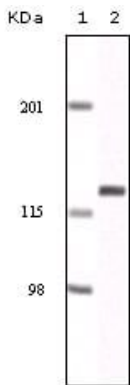
EPH 受容体 A2 (EphA2) は、976 アミノ酸 (約 107 kDa) からなるタンパク質で、タンパク質チロシンキナーゼファミリーのエフリン受容体サブファミリーに属します。

す。EphA1、EphA2、EphA3、EphA4、EphA5、EphA6、EphA7、EphA8、EphA10、EphB1、EphB2、EphB3、EphB4、およびEphB6は、エフリンファミリーリガンドに対するEphファミリー受容体です。正常細胞において、EphA2は細胞増殖と浸潤性を負に制御します。EphA2は多くのヒト癌で過剰発現しており、予後不良と関連することがよくあります。EphA2の発現の臨床的意義は、乳がん、前立腺がん、結腸がん、皮膚がん、子宮頸がん、卵巣がん、および肺がんにおいて観察されました。EphA2は、膀胱がん、結腸腺がん、および卵巣がんの治療における新たな標的となる可能性があります。

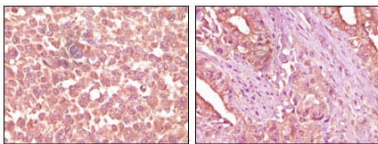
## 研究分野

アポトーシス、PI3K-Aktシグナル伝達経路、Hippoシグナル伝達経路

## 画像データ



NIH/3T3細胞溶解物に対するEphA2マウスmAbを使用したウエスタンブロット分析。



パラフィン包埋ヒト皮膚癌（左）および膵臓癌（右）組織の免疫組織化学分析。DAB染色によるEphA2マウスmAbを使用して細胞質の局在を示しています。